

宮園小学校「くるりん村」が「全国学校・園庭ビオトープコンクール2017」を受賞しました。前回

全国学校・園庭ビオトープコンクール

日本生態系協会賞 受賞  
宮園小ビオトープ「くるりん村」  
表彰式で活動状況をパネル発表

ようこそ  
くるりん村へ  
駅7.2km 奥行き15m  
幅員 約1,000m

ここはくるりんの命の  
園じゅうこの池は、約3  
000m先の山から麓部  
の豊かな湧き水を帯びて  
いるおなじみ。

7月には児童委員会がつとん少  
屋がやっています。成長が死んでし  
まったつとん少屋の池の中に  
は、新しい命が芽まいています。

くるりん村のこれまでの  
歩みをお知らせします。今年  
は4年連続で表彰を受け  
ています。

「野原の楽」では、春には  
キョウチクトウを植えて、モンシロ  
チョウの観察をしています。  
サワヤキやシロガヤキ、大  
規模な草刈りも行っています。

くるりん村  
の活動が  
とてもよ  
うです。

どの児童にも、たくさん種類のド  
ングリの観察を行っています。カ  
ラフルムも観察しています。

新築も子ども達の手作りです  
「どんぐりの森」「かめさん池」  
「せせらぎ池」などの「集まり」  
に取り組みました。子ども達は、一  
人一人がアイデアスケッチを  
描き、その思いが込められていま  
す。春には、1つづつでも自然  
の恵みを感じ、自然がいっぱい  
な「大発見、自然がいっぱい  
のオト」など子ども達のオト  
に響くような活動が展開されてい  
ます。

活動状況を発表したパネルから、くるりん村の紹介イラスト

に引き続き、今回で6  
度目の受賞。  
同コンクールは(公  
財)日本生態系協会が  
主催し、子どもたちが  
普段の生活の中で自然  
に触れ合うことができ  
るよう、身近な学校や  
園にビオトープ設置の  
普及と促進を目的とし  
ています。1999年  
から隔年開催され、今  
回で10回目の開催。  
表彰式は2月11日に  
秋篠宮殿下をお迎えし、  
東京大学伊藤謝恩ホー  
ル(東京都文京区)で  
厳かなうちにも華やか  
な雰囲気で開催されま  
した。

本校からは3名(ビ  
オトープの会、PTA会  
長、学校長)が参加し、  
パネルでビオトープの  
全貌、教育的活用、命  
を大切にする心、感謝  
の心、これからのビオ  
トープ等の発表を行い  
ました。たくさんの方  
から好評をいただきま  
す。

これからも宮園小学  
校「くるりん村」は、皆さ  
まの支援をいただきなが  
らさらなる活動の発展を  
していきたいと思いま  
す。(宮園小学校・校長  
石井豊彦)